



読字原田 親

No. 574

2009/5/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西神田1-1-1 第2ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3335

日中友好協会
倉敷支部
〒713-9014
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL:FA0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



2009年度総会を開催します

日中友好協会岡山支部

《2009年度総会開催のご案内》

2009年度総会を、下記のとおり開催します。

ぜひご参加くださいますよう、ご案内いたします。

とき：6月21日(日) 10時～12時30分

ところ：岡山医療生協(岡山協立病院)

comcom・ホール三階

岡山市赤坂本町8-1

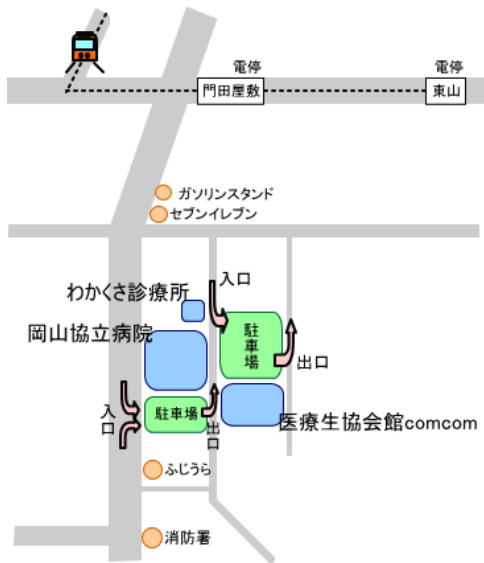
参加費：500円(当日受付)

*1000円の弁当・お茶を用意しますので、

6月17日までにお申し込みください。

お申込み電話：FAX：086-272-3010

*車でおいでの方は、会場の有料駐車場にお入れください。無料駐車の手続きをとります。



☆総会後、みんなで昼食を食べた後、千羽鶴の吹流しをつくりまします。ご協力をお願いします。

日中友好協会岡山支部 第80回 日中文化講座 講演「いまの中国をどう見るか」

一映画・漫画を通して— 講師：石子 順さん



5月16日(土)午後2時から岡山県立図書館の多目的ホールで、開催されました。当日雨模様の中を、58名の方が参加されました。

石子さんは、四本の映画のパンフレットをコピーしたものを「戦場のレクイエム Part II」を全員に配ってその映画への思いを語られました。戦場のレクイエムはすでに上映が終了しています。Part IIは現在上映中です。花の生涯 梅蘭芳 Part IIはこれから近いうちに上映が始まります。いまの中国を知るもつともよい教材が映画だという事を、あらためて感じたいです。皆さん中国映画を観にいきましょう。

また、中国でのマンガは「こまマンガ」だそうです。ご紹介いただいたマンガを紙面で紹介できるようにお訪ねしてみます。期待していただきたいと思います。講演の内容は、テープを起こして、次々回ぐらから掲載できると思っています。 真田



「支援・相談員の役割発揮が課題」

林 潤

五月九日に長岡の県営団地の集会所で、中国残留日本人孤児の皆さんと弁護士団の懇談が行われ、中国残留日本人孤児、弁護士、支援者が二十数人参加しました。〇八年四月の開始から一年が経過した新たな支援策について、現状と課題をはつきりさせるための懇談でした。

秋山弁護士の挨拶のあと、則武弁護士の進行でアンケートをもとに、新たな支援策への疑問や問題を出し合いました。

これまで満足な職や年金を得られない中国残留孤児は生活保護を受けるしか生活を支える制度がありませんでした。新たな支援策による 支援給付金は生活保護の枠組みを利用していますが、国民年金の満額支給が受けられることや保有を認められる資産の額が大きいことなどが生活保護と異なっています。

支援給付金は額の不満はないものの、明細がないので月によつて金額が変動する由を分るようにして欲しい」と要望が出されました。

また新たな支援策では支援・相談員が対応することになりました。支援・相談員は中国



残留邦人等に理解が深く、中国語のできる「人が担うことになつていきますが、これまでの自立指導員が横滑りになつた人がほとんどで、かんたんな中国語しか言えない人がいる、との実態も出されました。お隣の兵庫県では事情が良く分かっている二世、三世の採用も行われていることですが、岡山では二世、三世の方も自分の生活で精一杯という状況もあるようです。そうした中で岡山市では、担当以外の支援・相談員も中国残留孤児の方から要請があれば対応できるようになっているのは運動の成果です。

今回の懇談で出された問題について、弁護士団は制度の改善を求めていくことにしています。

帰国してから日本語も分からず、暖かさを感じられなかった」という発言もありました。中国残留孤児の皆さんが安心して暮らせる暖かい制度にしていきたい、と思っていました。

日中友好は、憲法9条を生かす道

真庭9条の会講演会

「中国残留日本人孤児」の講演を聞いて

私たち真庭9条の会はこの集会を開催するにあたって次のようにアピールしました。

“私たちは戦争の加害者としての日本を、ほとんど言つて良いほどに知らない。歴史で詳しく教えられてこなかったのです。子どもたちや孫たちに伝えていかなければならない立場としては、とてもよい機会だと思えます。”

講演は高杉さんが戦後、旧満州(現中国東北地方)の混乱の中で親と離れ離れになり中国人夫婦に養育され成長し、日本に帰国するまでの40数年間の生活と帰国後の20年間の苦難のお話。通訳に南蓮さんが、そして解説者として中国東北か

ら引きあげ者であり勝山高校元教員の小林軍治さんが要点を解説されました。戦後60余年間の日中の歴史を垣間見ることができました。講師のお話の要旨は次のようことでした。

1941年中国東北のへき地で



真庭市での講演で高杉さん

誕生、3歳の時、父は関東軍に応召、母と弟は難民収容所で亡くなる。のちに養母となる方の兄に発見され、子供のいない養父母に預けられた。その後、中国残留日本人孤児たちが帰国したことを聞いたが、「日本に帰りたい気持ちが一杯だったが、父母の名前や住所も分からず仕方がなかった」という。養父が亡くなると、一家の柱として農作業に明け暮れる毎日が続く。その間、17歳のおりに林業専門学校に入学、卒業して就職、その後「両親が分かるかもしれない」という希望がわき、北京の日本大使館に紹介したり、開拓団のあった場所を尋ねたりして、身元の手がかりを探し求めたそうです。

永住帰国されました。帰国後は帰国孤児定着促進センター、職業訓練センターに通所。その後10年間会社勤務、大変なご苦労があったようです。現在は岡山で夫婦2人の年金生活だそうです。

この講演を聞いて高杉さんの思いは祖国日本に帰りたいと同時に、幼時から育ててくださった中国人養父母の愛情に対する御恩の中で、本当に苦悩されたことと思います。このような高杉さんや中国人養父母の心情を私たちは正しく受けとめ、日中友好に精一杯の努力をすることが求められていると思えます。

これが憲法前文や9条の精神を生かす道ではないでしょうか。

福原 明知

(真庭9条の会・代表委員)

中国「残留日本人孤児」写真展より

(五十枚の写真が教えてくれた事)

四月二十日から市役所で開催された、宗景正さんの、写真展のお手伝いをさせて頂きました。二日間程でしたが、私にとつては、貴重な時間を過ごす事が出来ました。

私は、日本語教室のお手伝いを始めて、四年が過ぎました。その間、一世の方や、二世の方、そしてまだ若い三世の方、それぞれ中国や日本に対する思いは違いますが、なんとなく分かっていたつもりで、実は分か

つていなかったのでは、という事を痛感しました。

それは、新聞の写真展の記事を見て、遠くから来られたご婦人の方の話。又、もしかしたら、私の母も中国残留孤児になっていたかもしれないのよ。」と話された女性の方の思い。ある男性の方は、僕も、長春にいたんですよ。大変だった。」と話されました。

今回の写真展で感じたことを、今後の日本語教室で活かしていきたいと思いました。

貝吹佳代子



写真展で受付をする井上さん(左)と貝吹さん

平和の波2009おかやま

サラム(人)とサラン(愛) 思いはつながる

朴慶南講演会

在日2世として日本で生まれ育った朴さんは、命(人権)が大切にされる社会を目指し、日本と朝鮮半島のかけ橋に、そして世界中から戦争がなくなるようにという願いを原動力に、精力的に取り組んでおられます。

その公演は、笑いあり、涙あり、そして聞き終わったあとには元気とあすへの希望を与えてくれます。

日時 6月27日 18時開場、18時30分開演

場所 天神山プラザホール

入場料 1000円

主催 RIPPLE (リプル)

お問い合わせ 090-7120-8045

(20時以降、それ以外の時間帯は留守電対応)

戦争犠牲者の遺言—憲法9条を守り世界にひろげよう

映画「反戦、平和、名作」のつどい

日時:6月14日(日)

岡山市中央公民館視聴覚室(小橋町) (無料)

① 雲ながるる果てに(モノクロ) 10:30~ (100分)

② Z (カラー)13:30~ (130分・仏・アルジェ)

主催:平和の波おかやま実行委員会

TEL:273-3894 FAX:272-8944

共催:日中友好協会岡山支部

命を生み出す母親は 生命を育て 命を守ることをのぞみます

2009年 第43回 岡山県母親大会

とき:6月14日(日)10時~16時

ところ:高梁市総合文化会館・高梁市文化交流館

《記念講演》

「わたしのいのち・あなたのいのち」

—教育・環境・平和—

講師 千葉喬三さん 国立大学法人岡山大学学長 農学博士

主催:岡山県母親大会実行委員会 高梁市母親大会実行委員

次回の新聞発送作業は6月1日(月)午後1時半~民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

宇野 小林 竹内和 竹内袈 坪井